

授業科目名	書写演習（小）(2100121)		
時間割名	書写演習（小）(33107)		
時間割担当	小竹光夫		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・3		

授業の目標・概要

「書写」は、小・中学校国語科の[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]に位置付けられている。高等学校芸術科書道」とは異なり、言語記号としての文字の習得と活用に大きな重点が置かれている。日常生活という視点で考えれば、文字をどう整えて正しく効率的に書くか、効果的な活用をしながら、どんな言語生活を送るかが主眼となることは言うまでもない。「心込めて書く」という表現が多用されるが、いくら心を込めようと読めないのでは言語として伝わらず、何のための文字学習かということになる。本「小学書写」では、初等教員として必要な文字を書くための実力と、学習者への基礎的な指導能力育成を中心に学習を展開する。

学習の到達目標

小学校で学習対象となる漢字の楷書と、それに調和する仮名の書き方の基礎を学び、学校教育現場で示範や活用ができる書写力の基礎を身につける。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 書写学習の流れを理解する
小学校で学ぶ文字種や書体、中学校の学習への展望について理解し、確かめる。
- 第2回 硬筆書写の基礎（平仮名を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第3回 硬筆書写の基礎（平仮名・片仮名を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第4回 硬筆書写の基礎（漢字の楷書を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第5回 硬筆書写の基礎（漢字の楷書を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第6回 硬筆書写の基礎（漢字仮名交じり文を書く）
配置配列を考えて、調和よく書くことを学習する。
- 第7回 硬筆書写の基礎（書式に合わせて書く） 縦書き、横書きの基本を理解して書く。
- 第8回 毛筆書写の基礎（毛筆の効果と機能を考える） 毛筆で書く場面を想定し、学習の意義を学習する。
- 第9回 毛筆書写の基礎（漢字の楷書を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第10回 毛筆書写の基礎（漢字の楷書を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第11回 毛筆書写の基礎（平仮名・片仮名を書く） 基本的な用・運筆と字形の整え方について学習する。
- 第12回 毛筆書写の基礎（漢字仮名交じり文を書く） 配置配列を考えて、調和よく書くことを学習する。
- 第13回 毛筆書写の基礎（「書き初め」を書く）
「書き初め」の意義と効果について考え、事例に従って書く。
- 第14回 身の回りの文字文化と板書
生活の中で生きて働く文字の力について考え、指導者として求められる板書力について学習する。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30％）さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。（30％）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40％）

授業時間外の課題

文部科学省編『小学校学習指導要領 国語編』や『解説』を準備し、基本的な理解を進めておくことが好ましい。参考図書等については教員側で紹介する。

メッセージ

小学生にとって、教師が示す文字は単なる情報の提示としてだけでなく、文字習得の基本となる字形や筆順のモデルでもある。そのことへの理解を深める取り組みであって欲しい。

教材・教科書

授業中に指示する

参考書

授業中に指示する